

2024 年 12 月 12 日

会社名：株式会社シンシア
代表者：代表取締役社長 中村 研
(東証スタンダード市場：7782)

最近いただいたご質問と回答

日頃より、当社にご関心をお寄せ頂き誠にありがとうございます。当社 I R 窓口宛にいただきましたご質問とその回答について、下記の通り開示させていただきます。なお、本開示は情報発信の強化及びフェアディスクロージャーの観点から開示するものです。

記

Q 1：御社、事業セグメントのコンサルティング事業において、医療脱毛に関する事業を手掛けていますが、昨今、同業者による競争激化により業界大手であっても破産に至る状況です。御社、当セグメントの医療脱毛に係る内容と状況を教えていただけますでしょうか。

A：シンシアは医療脱毛クリニックへのコンサルティングを実施しており、クリニックからのコンサルティング料の受領が、当社売上として計上されております。

当社の主軸の事業であるコンタクトレンズ事業で培ったマーケティングノウハウを事業運営に活用、さらに客観的な視点からの事業運営見直しなど、現有店舗収益を高めるべく支援を行っています。ご承知の通り同業における競争は激化しておりますが、堅実な経営方針により事業を邁進しておりますので、当クリニックの業績は堅調に推移しており、今年度においてもシンシアの連結業績に着実に貢献する見込みです。

Q 2：12 月 4 日に放映された BS11「NEXT Company」を拝見しました。番組内でシンシア S シリーズのカラーサークルコンタクトレンズ「クレシェ」についての紹介がありましたが、EC サイトでの購入はできないのでしょうか。

A：EC サイトで購入いただくことはできません。カラーサークルレンズの「クレシェ」をはじめ、クリアレンズを含めた、シンシア S シリーズは、処方施設（実店舗）でご購入いただくことになります。

なお、シンシアは、上記シンシア S シリーズ以外の商品において、EC サイト、ドラッグストアなどで、シンシア S シリーズと同等の高品質な商品をお求めいただくことが可能です。

Q 3：当年度においては昨年度計上されたデリバティブ評価益の計上は見込めないのでしょうか。

A：為替変動による損益影響を減少させるべく、コンタクトレンズ主要製品の輸入仕入通貨を円建てとすることで、従来、支払い通貨として確保していた外貨（US\$）資産については、その必要性の低下からボリュームが減少しました。さらに現時点の為替状況により、昨年度同様のデリバティブ評価益の計上可能性は低いと思われます。今後は為替変動による利益影響を最小限に留め、本業利益により株主様へのリターンを創出してまいります。なお、当年度の業績は、足もと順調に推移している状況です。

以 上